8月末組織人数 5,100人

９月は拡大統一行動月間。
積極的な声かけをしましょう。

建労いわて 月刊号

発　行　所
岩手県建設労働組合連合会
教　宣　部
盛岡市本宮一丁目７番２７号
電　話　０１９－６３１－３２８０
ＦＡＸ　０１９－６３５－４０１５
発　行　者　藤　井　泰　男

社会保険 加入指導前倒しへ

文書が届いたらまず組合にご相談を

国土交通省（以後国交省とする）は、５年ごとの建設業許可更新時に実施している社会保険の加入指導を前倒して実施することを発表しました。

まず大臣許可と都道府県知事許可業者の中から、２０１６年１月以降に許可更新期限を迎える社会保険未加入業者を抽出し、加入を指導する文書（通知）を同省から対象企業すべてに今秋送付するとのことです。

厚生労働省への通報時期を現在よりも早め、すべての未加入許可業者の通報を２０１７年度に完了させる意向で、許可業者の１００％加入に向け、加入指導と通報の前倒しに踏み切ることにしました。

文書による事前の加入指導を実施するのは、２０１６年１月以降に許可更新期限を迎える業者（約12万業者）のうち未加入の業者で、個人や既に指導に入っている業者は除外することです。

許可更新期限に応じて、対応の仕方は異なりますが、２０１７年３月末までに社会保険に加入していなければ社会保険等部局に通報されます。

また、保険部局の加入指導にも従わない場合は、国交省側で建設業業に基づく指示処分がされ、それでも未加入のままなら３日以上の営業停止処分が下されます。

年金事務所から事業所の事業状況確認を記載する文書が送られてきたり、元請や１次業者から協力業者に、加入状況を確認する文書が送られてきたとの情報がありました。

社会保険適用対象事業者は、社会保険加入が前提ですが、中建国保に加入している事業所で要件を満たせば、中建国保を継続しながら厚生年金をかけることが出来ます（建労いわて２０１５年６月号に掲載）。このような文書が届いた場合は、まず所属されている組合にご相談下さい。

ひとつひとつの工程を丁寧に仕上げていきます

全建総連 第31回
青年技能競技大会
岩手県予選会

本大会入賞を期待

代表は日向春樹さん

平成27年8月21日、遠野市「遠野高等職業訓練校」において、全建総連第31回青年技能競技大会岩手県予選会が開催されました。

この競技大会は青年技能者に努力目標を与え、技能尊重気運のじょうせいを図ることを目的に毎年開催されていて、今年で31回目。今回の予選会には日向春樹さん（遠野）１名が参加されました。

予選会審査員長の岩﨑正県連住宅技術対策部長より開会あいさつ。

その後、課題となる「四方転び踏み台」作成に関わる説明が行われ、９時20分競技が始まりました。競技には製図・加工・組立てがあり、競技時間は６時間で打ち切りとなっています。

開始から約１時間後、早々と図面を書き終えて加工に入りました。

昼食休憩をはさみ、午後の部が再開。競技終了時刻の約30分前に作品が完成。そのまま審査となりました。

審査の結果、日向さんを岩手県代表とすることが決定しました。その後、審査員から選手へ細かいアドバイスがあり「本大会まで練習し、入賞を目指してほしい」とお話しがありました。

閉会式では、岩﨑審査員長から推薦状が授与され、また県連青年部からは選手へ「はなむけ」が贈られました。

最後に大森審査員から閉会あいさつが行われ、予選会は終了となりました。

予選会終了後、岩手県代表となった日向さんにいくつかお話を聞きました。

日向さんは大工になって今年で５年目。青年技能競技大会予選会には今回が３回目の出場となります。

日向 春樹さん
（遠野建設組合）

予選会に向けて、週３日仕事終わりに約４時間練習をしてきたそうで、作品づくりには、正確でぱっと見て「きれいだな」と思われる様に、見た目を美しくすることを心がけているそうです。

９月22日～24日に長野県松本市で行われる本大会についての意気込みを聞いたところ、「昨年23歳以下の技能五輪に出場したが、入賞出来なかった。その悔しさを競技大会でぶつけたい。競技では練習の成果を発揮し、競技時間ぎりぎりまで使い、いい作品を仕上げ入賞したい」と語って頂きました。日向さんの奮闘を期待します。

【県連　鈴木（章）記】

きずな

今年も暑く雨の少ない夏で、屋外で丹精込めて作られた農作物も被害を受けた。

あついと言えば、花巻東高校の活躍だ。１戦１戦力をつけて勝ち進んでいく姿はたくましく感動した。

全国的にも注目され、熱い戦いが始まる予定だった岩手県知事選挙。平野達男氏が国会議員を辞職しての出馬表明。

県内・政党・各団体も力を入れて選挙戦に取り組んで行く中で、国レベルでの与野党が争う状況になってしまい、突然立候補を辞退する結果となってしまった。理由は、現在国会で議論されている「安保関連法案」が論点であるようだ。

しかし、法案が正当であるのならば、辞退せず挑戦してもらいたかった。平野氏は、復興大臣経験者として岩手の為に活躍できる人でもある。

これから国会も熱い論議が続くと思うが、日本の将来を決める大事な局面を迎えているので、注視していきたい。

全建総連教宣部では「いま憲法を学ぶ」という学習テキストを発行した。これは来年の参議院選挙後に、憲法改正の国会発議とその賛否を問う国民投票が実施されることに伴って発行した。ぜひ活用してほしい。

【県連会長　齋藤 徳重】